

# 共通テストの国語とは

## 出題構成

試験時間 80分				大問
第1問	第2問	第3問	第4問	ジャンル
論理的 文章	文学的 文章	古文	漢文	配点
50点	50点	50点	50点	本文ページ数
5~6 ページ 程度	3~5 ページ 程度	1~2 ページ 程度	1 ページ 程度	設問数
6問 程度	6問 程度	6問 程度	6問 程度	解答数
10~12	8~9	8~9	8~9	

※2017年・2018年実施試行調査からの編集部予測

共通テストの国語は、4大問構成で、解答時間は80分。4大問ともマーク式による試験である。従来のセンター試験と同様、知識事項や文章読解について出題される。基本事項を押さえて演習を積んでいくことが大切だ。

## 出題内容と攻略ポイント

スタンダードな問題だが、短い時間で長文を読み解く力が必要。

難問・奇問はないが、読み込まなければならない文章量が多く、時間との勝負になる。文章を速く正確に読み取り、情報を的確に処理する力が必要である。また、すべてのジャンルで、本文の論の進め方や表現についての問いが出題される傾向が続いている。部分的な理解だけでなく、文章全体を正確につかむ力も求められる。

### 攻略ポイント

まずは正確に読むことを意識！

初めは十分な時間をかけ、共通テストと同程度の字数の文章を、正確に読み取る練習を積もう。

基礎問題が全体の約3割を占める。

センター試験では、評論の漢字、小説の語句の意味、古文の語釈・文法問題、漢文の語句の意味や読み・訓読などが、全体の約3割を占めていた。共通テストでも同程度の基礎問題が出題されると思われる。

### 攻略ポイント

基礎知識の徹底学習を！

基礎問題でもつたいない失点をしないよう、基礎知識は繰り返し確認し、定着させておこう。

複数の文章や資料を関連づけながら読む力が重要。

共通テストでは複数の文章や資料を読んで互いに関連づけながら考える力が求められる。

### 攻略ポイント

設問等に注目しながら「情報」を整理する！

複数の文章や資料を関連づけるための「視点」を設問等に注目しながら確認し、解答を導くために必要な「情報」を整理していこう。

## 論理的な文章／実用的な文章 試行調査出題一覧

### 出典一覧

2017年度	2018年度
「路地がまちの記憶をつなぐ」(「まち路地再生のデザイン——路地に学ぶ生活空間の再生術」所収)(宇杉和夫)	【資料Ⅰ】広報の文章(ポスター) 【資料Ⅱ】法的な文章(著作権法)(抄) 【文章】著作権2.0 ウェブ時代の文化発展をめざして(名和小太郎)

### 設問構成

2017年度	2018年度
問1 問2 問3 問4 問5	問1 問2 問3 問4 問5 問6
漢字 内容の把握 要旨の把握 資料の役割の把握 論の展開・表現方法の把握 要旨の把握(推論)	漢字 内容の把握 要旨の把握 資料の役割の把握 論の展開・表現方法の把握 要旨の把握(情報統合)

一つの文章からだけでなく、複数の文章や資料を題材に出題されるようになった。

出題形式や対策の詳細は、4～5ページで確認!

## 文学的な文章 試行調査出題一覧

### 出典一覧

2017年度	2018年度
小説「ツバメたち」(「捨てる」所収)「ツバメたちの作者は光原百合」 ※小説中に「幸福な王子」(オスカー・ワイルド)を引用	詩「紙」(「オンディーヌ」所収)(吉原幸子) エッセイ「永遠の百合」(「花を食べる」所収)(吉原幸子)

### 設問構成

2017年度	2018年度
問1 問2 問3 問4 問5	問1 問2 問3 問4 問5 問6
漢字 人物の様子の把握 心情の把握 表現の特徴の把握と評価	語句の意味 心情の把握(情報の関連づけ) 表現内容の把握 表現内容の把握(表現効果の評価) 心情の把握(心情変化の把握) 表現の特徴の把握と評価

小説だけでなく、詩やエッセイも出題された。

出題形式や対策の詳細は、6～7ページで確認!

# 論理的な文章 実用的な文章

## 共通テストの攻略ポイント

大学入学共通テストの第1問は、評論・論説文などの「論理的な文章」や「実用的な文章」を題材に出題されると考えられる。さまざまな文章や資料から出題されるので、日頃から教科書だけでなく、日常生活のあらゆる場面で目にする文章の内容をしっかりと理解することを心がけよう。問題形式は、従来のセンター試験でも出題されてきた「漢字」「内容把握に関する問題」「論の展開・表現方法に関する問題」などに加えて、「図表の理解に関する問題」「情報の整理・統合に関する問題」など、複数の文章や資料を関連づけて答える設問も出題される。

### 文章・資料

さまざまな形式の文章や資料をどれだけ正確に把握できるかが鍵！

設問から読み取れる「条件」を利用して、必要な情報を読み取る！  
提示される文章・資料の内容は、論理的なもの、実用的なものなど多岐にわたる。どのような文章・資料であっても、まずは内容を正しく把握することが大切である。設問から読み取れる条件を見落とさないようにして、必要な「情報」を限られた時間内に効率的に読み取ることが心かげよう。

### 【漢字】

一度目にした漢字は確実に覚えよう！

文脈を意識して漢字の意味を確認したうえで、選択肢を吟味！

共通テストでも従来のセンター試験同様の形式での出題が考えられる。解説の「意味」や「書いて覚えよう」を活用して漢字の知識を増やしていこう。

### 【内容の把握】

問われている内容を確認、解答の方向性を見つけよう！

関連性のある内容に注目して「情報」を整理する！

傍線部が表現していることを直接問うている場合もあれば、複数の文章や資料の情報を踏まえて解答する場合もある。後者の場合、まずは複数の文章や資料を関連づける「視点」を確認する必要がある。それぞれの文章や資料の「共通点」や「相違点」を踏まえながら、設問から読み取れる条件に合う情報を見つけだしていこう。

問2 傍線部A「記録メディアから剝がされた記号列」とあるが、それはどういうものか。「資料Ⅱ」を踏まえて考えられる例として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は **6**。

- ① 実演、レコード、放送及び有線放送に関するすべての文化的所産
- ② 小説家が執筆した手書きの原稿を活字で印刷した文芸雑誌
- ③ 画家が制作した、消失したり散逸したりしていない美術品
- ④ 作曲家が音楽作品を通じて創作的に表現した思想や感情
- ⑤ 著作権法ではコントロールできないオリジナルな舞踏や歌唱

(2018 試行調査 問2)

## 【資料や引用の役割・効果の把握】

資料や引用だけに注目するのではなく、たえず本文の内容と照らし合わせよう！

資料や引用が文章とどのように関連しているかを把握する！

資料や引用は文章の内容をより効果的に伝えるために提示されているものである。したがって、資料や引用が文章の内容とどのように関連しているかを確認する作業は欠かせない。複数の資料や引用が提示される場合もあるので、設問から読み取れる条件を踏まえ、資料や引用が文章においてどのような位置づけになっているかを考えながら読み進めよう。

### (2018 試行調査 問4)

問4 傍線部B表2は、具体的な著作物「テキスト」について、表1を再構成したものである。とあるが、その説明として最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。解答番号は 8。

- ① 「キーワード」と「排除されるもの」とを対比的にまとめて整理する表1に対し、表2では、「テキストの型」の観点から表1の「排除されるもの」の定義をより明確にしている。
- ② 「キーワード」と「排除されるもの」の二つの特性を含むものを著作物とする表1に対し、表2では、叙情詩型と理工系論文型とを対極とするテキストの特性によって著作物性を定義している。
- ③ 「キーワード」や「排除されるもの」の観点で著作物の多様な類型を網羅する表1に対し、表2では、著作物となる「テキストの型」の詳細を整理して説明をしている。
- ④ 叙情詩モデルの特徴と著作物から排除されるものとを整理している表1に対し、表2では、叙情詩型と理工系論文型の特性の違いを比べながら、著作物性の濃淡を説明している。
- ⑤ 「排除されるもの」を示して著作物の範囲を定義する表1に対し、表2では、叙情詩型と理工系論文型との類似性を明らかにして、著作物と定義されるものの特質を示している。

## 【論の展開・表現方法の把握】

構成だけに注目するのではなく、たえず本文の内容と照らし合わせることを心がけよう！

論の展開の説明でよく使われる表現に注目！

設問は、本文全体の構成についての説明を求めるものであることが多い。まずは、問われている内容や選択肢の表現を押さえ、本文がどのような構成になっているかを確認しよう。そのうえで、「具体例の提示」「比較検討」「問題点の指摘」「主張の提示」などの論の展開の説明の際によく使われる表現に注意しながら選択肢の内容を吟味していこう。

また、本文の表現についての説明が問われることもある。部分的な読解にとどまらず、筆者がねらった表現効果や引用の意図など、文章全体を俯瞰的にとらえながら本文を読んでいくようにしよう。

## 【要旨の把握】

問われている傍線部や資料のみに着目するのではなく、本文全体の内容と照らし合わせよう！

本文の論旨から外れないように注意して選択肢を吟味！

設問は、本文の要旨を問う以外にも、本文で述べられている内容を、別の文脈や資料等に当てはめて考えることを求めるものも出題される。本文以外に提示される内容は、本文に書かれていない具体例、本文と内容的に関連した資料・事柄等、多岐にわたるが、本文全体の要旨を踏まえ条件として提示された場面設定に応じて判断していくことが求められる。いずれにしても、「本文の論旨と矛盾しないか」「本文の論旨から論理的に導き出される推論として適切か」といった観点から選択肢を吟味していこう。

# 文学的な文章

## 共通テストの攻略ポイント

大学入学共通テストの第2問は、小説・随筆（エッセイ）・詩歌などの出題が考えられる。日頃から授業や読書などをおしてさまざまなジャンルの文学作品に触れるように心がけよう。問題形式は、従来のセンター試験でも出題されてきた「語句の意味」「登場人物の心情に関する問題」「表現に関する問題」などに加えて、「本文とは別の文章をもとにした解釈に関する問題」といった複数の文章を関連づけて答える設問も出題される。

**本文** **さまざまな文章を限られた時間で正確に把握できるかが鍵！**

設問の「条件」等を利用して、必要な「情報」を正確に読み取る！  
本文は、小説・随筆（エッセイ）・詩歌などが中心に出題される。内容も多岐にわたるので、演習問題などでさまざまな文章に慣れておくことが大切である。また、関連のある複数の文章が提示された場合には、設問から読み取れる条件等で関連づけの方向性を確認し、問題を解くうえで求められている情報を正確に読み取ることが要求される。

### 【語句の意味】

辞書的な意味を踏まえることが基本！

文脈に引きずられず辞書的な意味を意識して選択肢を吟味！

共通テストでも従来のセンター試験同様の形式での出題が考えられる。語句自体は特に難解なものではない。設問に「本文中における意味として」とあっても、辞書的な意味を踏まえて考えることが攻略のキギだ。

### 【表現内容の把握】

問われている内容を確認し、解答の方向性を見つけよう！

設問の意図を読み取り、選択肢を吟味する！

特定の表現の意味する内容を説明することだけでなく、文章にある比喩的な表現の把握も含まれる。また、傍線部の内容について、別の文章の内容と関連づけて解答することが求められる場合もある。

